

課目名:理容実習 シェービング I II 課目コード:J140 J140 フェイストリートメント I 課目コード:J150

単位名:理容科 ヘアデザイン ・ブライダルシェービングエステ

2単位(60単位時間)シェービング I II 0.5単位(15単位時間)フェイストリートメント I

開講時期:1学年(前期)

担当教員 :長瀬 達雅 真吉一巳 福本雅彦 奥林正貴

●課目授業の目的と学生の達成目標:

シェービングは危険を伴う技術なので、刃物の持ち方、操作を十分に理解する。
又、皮膚・髭についても理解が必要。

●成績評価の方法:

準備、スチーミング及びラザーリング。

●教材・ならびに教育方法:

相モデル実習

●特に必要な教育方法、講師、協力企業等:

●この課目の今後の展開

メンズグルーミングの傾向に向いている。今後、髭のデザインなども必要になってくる。

●備考

2単位（60単位時間） シェービングⅠⅡ

回	時限	授業内容・授業方法	実務経験のある教員
1	8	シェービングの位置と姿勢 レザーの持ち方（ウィッグの姿勢） 正しい姿勢と剃刀の持ち方を理解する	
2～4	8	ラザーリング・添え手（ウィッグ使用） ラザーリング、添え手の必要性の理解	
5～6	8	スチーミング・てん包法・密着法・正拭法（ウィッグ使用） スチーミングの役割と必要性の理解	
7～10	8	ネックシェービング（ウィッグ使用） ネックシェービングにおけるレザーの取り扱い方法の理解。	
11	8	ウィッグによる確認テスト レザーの運行、安全性と正確性の確認	
12～14	12	相モデル実習（刃を入れない） ウィッグと人間の違いを理解する 安全性と正確性	
15	8	相モデル実習（刃を入れる）・ウィッグと人間の違いを理解する 安全性と正確性	

0. 5単位（15単位時間）フェイストリートメントⅠ

回	時限	授業内容・授業方法	実務経験のある教員
1	4	お客様に対するタオルの巻き方、シェービングクロスの掛け方 ターバンの巻き方 作業部位に対する立ち位置の確認	
2	4	マッサージクリームの塗布方法。立ち位置の確認 左右の首のマッサージ 下顎隅部～口角～頬部～額～目の周りへの マッサージ	
3	4	顎部～鼻～人中～オトガイ部へのマッサージ 乾燥タオルによる拭き取り	
4	2	相モデル反復練習	
5	2	確認テスト	